

スーパーマーケットのための 商品の生産地管理 システム開発プロジェクト

- 鷺見 尚希
- 戸田 皆吏
- 西川 竜雅
- 根本 翔太
- 久世 英寿

関係する利用者

企業側（顧客）

スーパーマーケット
(AEON)

利用者（エンドユーザー）

スーパーに来た客

業務分析

スーパーマーケット(AEON)での販売業務
(接客、売場づくり、レジ業務、広告作成など)
を基礎として、売上管理・組織マネジメント
を行っている。

引用元: <https://job.career-tasu.jp/2024/icorp/00009482/>

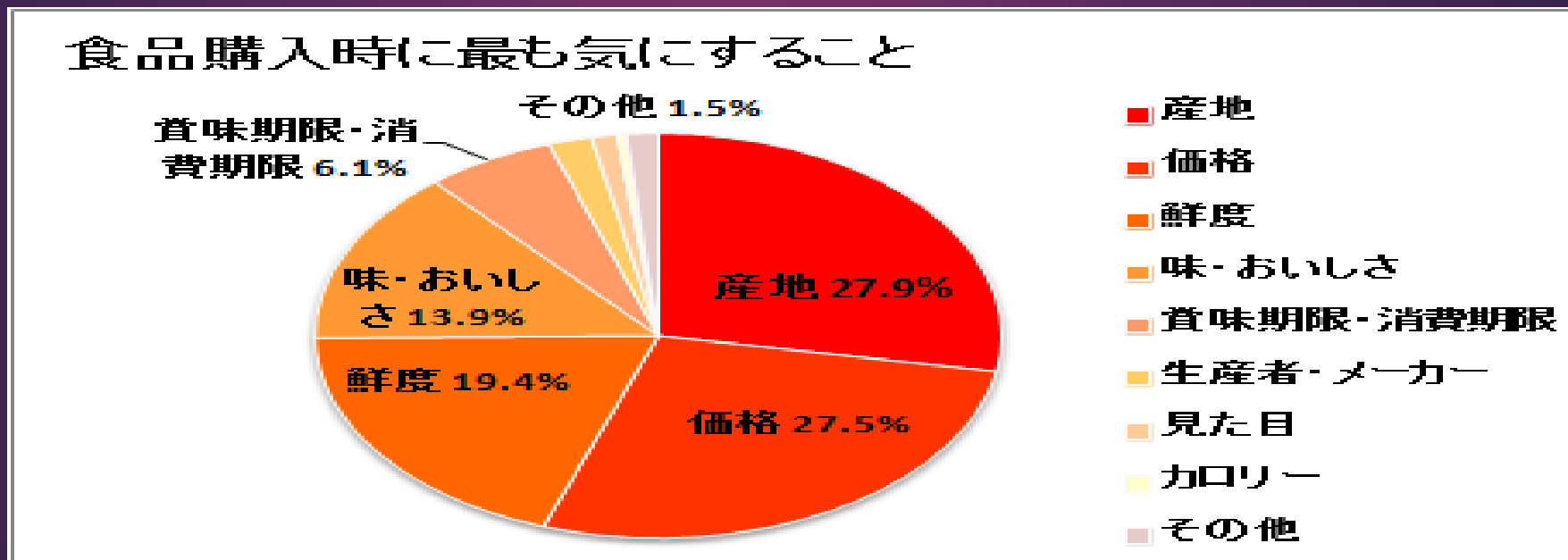
目的

スーパーマーケット(AEON)で、
利用者が産地を視覚的に理解することが
できることで、安心して購入をする事が
できるようにすること

引用元: <https://www.mitoriz.co.jp/pressrelease/20141001-2543/>

企画の背景

企業側：商品購入時に産地を気にされる既婚女性が多いです。そこでシステム導入によって、より見やすく安心して購入できるようにしたい。



引用元: <https://www.mitoriz.co.jp/pressrelease/20141001-2543/>

プロジェクトの内容

内容

商品を手にする→従業員に生産地・原産国かどこを聞く→
従業員がその商品を見て判断するor他の従業員に聞きに行く。



商品を手にする→顧客が商品のラベルの写真を撮る→
ウェブサイト内のマップにその商品の生産地・原産国が表示される。

現在の業務フロー図

利用者

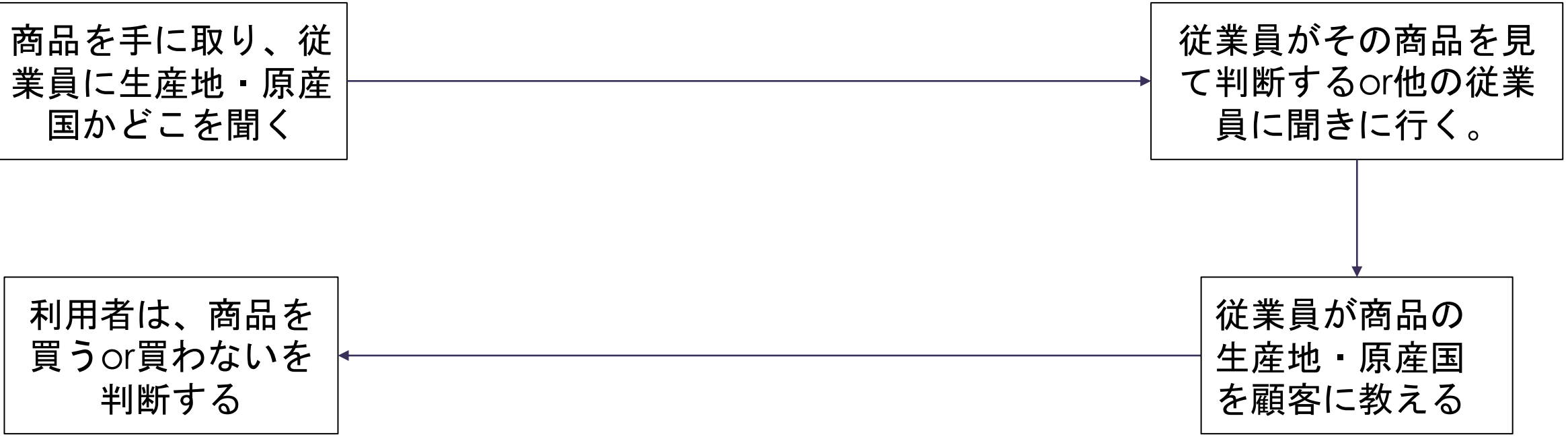
スーパー

商品を手に取り、従業員に生産地・原産国かどこを聞く

従業員がその商品を見て判断するor他の従業員に聞きに行く。

利用者は、商品を買うor買わないを判断する

従業員が商品の生産地・原産国を顧客に教える



システム導入後の業務フロー図

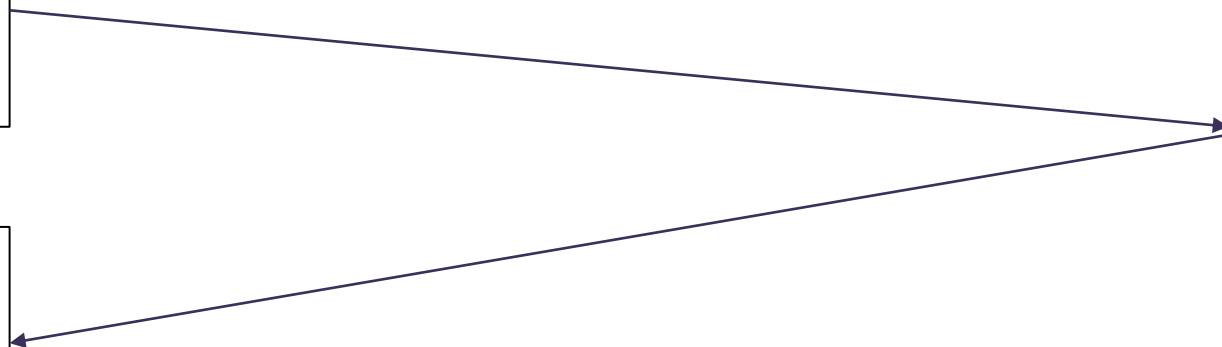
利用者

システム

商品を手に取り、商品のラベルの写真を撮る

その商品の生産地・原産国を地図で場所として表示

利用者は、商品を買うor買わないを判断する



システム概要図

データベース

商品の基本情報を送る

ウェブサイト

商品の読み取り
結果表示

商品読み取り
情報表示

商品読み取り

利用者

画像処理

機能一覧

- ・ 画像処理で読み取られた商品をデータベースに記録する機能
- ・ 記録した商品の産地を地図で場所を表示する機能

技術要素

技術要素⇒画像処理

商品のラベルを読み取るには画像処理機能を用いた読み取りで、商品の生産地を確認する。

プロジェクトの目標

- ・ 技術要素である画像処理を機能させる。
- ・ 画像処理で読み込ませたものをWebページで表示させる